



OKADA SABUROSUKE OKADA-ROOM

2015年7月2日(木) OPEN

このたび、佐賀県立美術館リニューアルにあたり、日本近代洋画の巨匠・岡田三郎助(1869~1939年)を紹介する常設展示室「OKADA-ROOM」を開設します。

佐賀県出身の岡田三郎助は、明治~昭和初期の日本近代洋画壇のリーダーとして活躍し、大きな功績を残した洋画家です。官展の中心作家として名を馳せた岡田は、帝国美術院会員、帝室技芸員に任ぜられ、1937(昭和12)年には第1回文化勲章を受章しました。

とりわけ岡田の名を高からしめたのは、優美な色彩と繊細な筆致で描かれた気品ある女性像です。洋画界にあって美人画の代表作家と見做され、「婦人像の岡田」「裸婦の岡田」と称された彼の上品な作品たちは、今なお私たちの心を魅了し続けています。

県立美術館では昭和58年の開館以来、近代洋画一なかでも岡田三郎助作品の収集、研究、展示を精力的に行い、その画業と人物の顕彰につとめてきました。晩年の傑作《裸婦》(1935年、佐賀県重要文化財)をはじめ、現在、油彩画や岩絵具作品約30点、デッサンや資料を含めると約170点の岡田三郎助関係資料を所蔵しており、質、量ともに国内を代表するコレクションとなっています。

「OKADA-ROOM」では館蔵の岡田三郎助の名作や遺品を中心に、常時約10点を展示予定。壁面の色や照明にもこだわった空間の中で、数々の名作をお楽しみください。更に、「岡田三郎助と近代洋画の佐賀」をテーマに、岡田とゆかりの深い百武兼行、久米桂一郎や、黒田清輝、藤島武二などの作品もあわせて年数回の展示替えを行いながら、常に新鮮な視点から、多角的な展示を行います。

佐賀県立美術館 OKADA-ROOM | 開館時間 9:30~18:00 | 観覧料 無料

〒840-0041 佐賀市城内1-15-23

TEL. 0952-24-3947 | FAX. 0952-25-7006

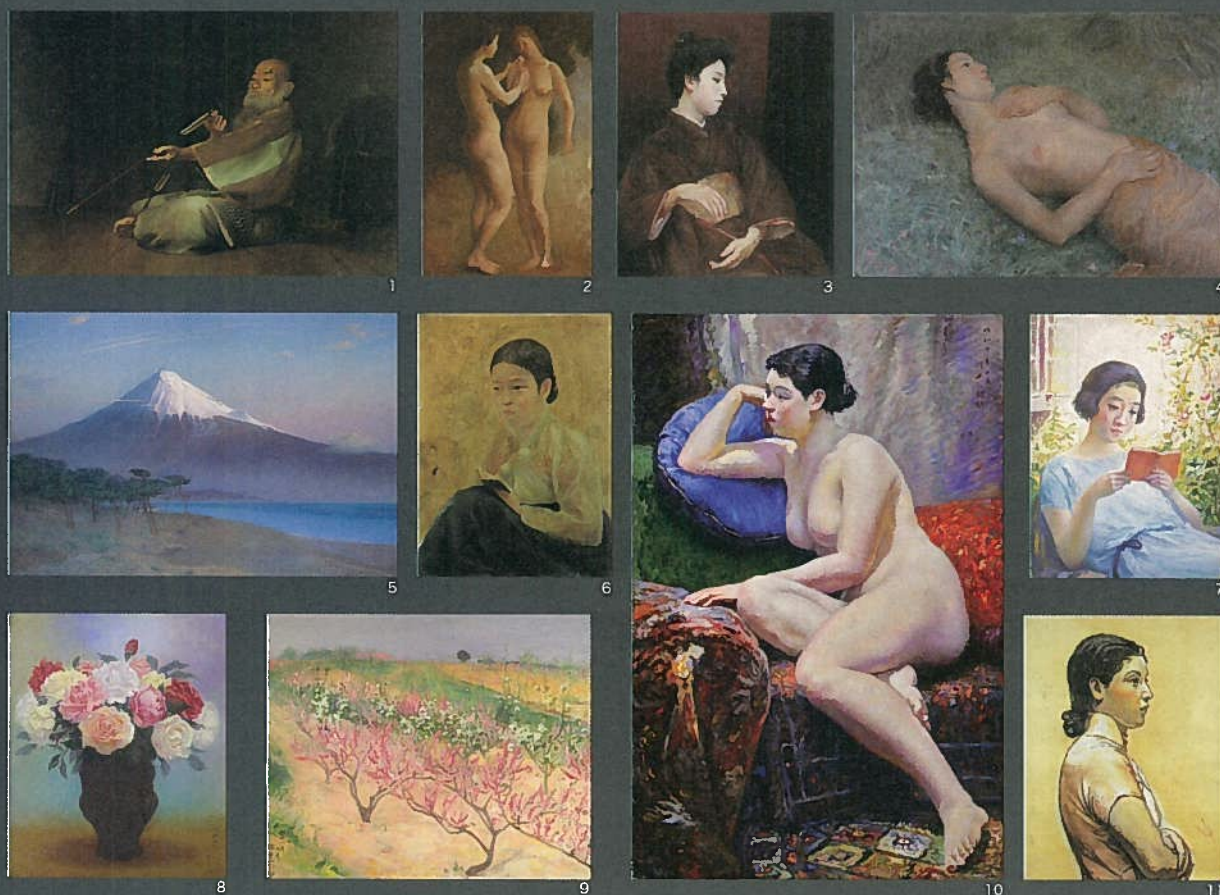
Web site <http://saga-museum.jp/museum/> | E-mail hakubutsukan-bijutsukan@pref.saga.lg.jp

OKADA-ROOM vol.1

2015.7.2(Thu)~9.13(Sun)

「OKADA-ROOM」第1回展示では、岡田三郎助の画技が遺憾なく発揮された11点を御紹介します。

画塾の卒業制作にして、若き岡田の早くも卓越した観察力と描写力が光る《矢調べ》、師ラファエル・コランの様式に範を取りながらも、対角線構図等に独自の工夫が見られる大正期の裸婦像の名作《花野》、風景画の中でも最大級の大さの《富士山(三保にて)》、そして豊富な肢体の質感や色彩の配置が素晴らしい晩年の傑作《裸婦》など、いずれも岡田作品の中でとりわけ人気が高い名品揃いです。



展示作品 ※全て岡田三郎助作

- 1《矢調べ》1893年、油彩・画布、72.5×105.0cm、佐賀県重要文化財
- 2《花の香(エスキース)》1903年、油彩・画布、69.8×45.8cm、個人蔵(寄託作品)
- 3《婦人像》1909年、油彩・画布、60.6×50.0cm
- 4《花野》1917年、油彩・画布、65.2×90.8cm
- 5《富士山(三保にて)》1920年、油彩・画布、137.3×197.5cm
- 6《朝鮮婦人》1922年、油彩・画布、45.5×33.5cm
- 7《少女読書》1924年、油彩・画布、44.9×33.2cm
- 8《薔薇》1931年、油彩・画布、45.5×37.9cm
- 9《丹霞郷》1933年、油彩・画布、53.0×65.1cm、個人蔵(寄託作品)
- 10《裸婦》1935年、油彩・画布、99.8×65.5cm、佐賀県重要文化財
- 11《婦人半身像(下絵)》1936年、パステル・紙、62.2×47.5cm